

第 15 回 総会議案書

1.	日時	令和 8 年 5 月 30 日（土） 午後 4 時 00 分
2.	場所	大阪市中央区西心斎橋 1 丁目 3-3 ホテル日航大阪 5 階 鶴の間
3.	議案	第 1 号議案 令和 7 年度事業報告承認の件 第 2 号議案 令和 7 年度決算報告承認の件 第 3 号議案 定款変更の件 第 4 号議案 役員選任の件
4.	報告	令和 8 年度 事業計画案 令和 8 年度 予算案 その他 表彰等

第1号議案 令和7年度事業報告承認の件

【令和7年度事業報告書】

総務委員会事業報告

1. 諸会議の進行

下記の通り諸会議の計画・事前準備・進行等を行った。

- (1) 総会 第13回総会 令和7年6月12日(木)「ホテル日航大阪」にて開催
- (2) 理事会 令和7年4月～令和8年3月までに13回開催
- (3) 監事会 上期、下期各1回 令和7年5月13日(火)、11月28日(金)開催
- (4) 戦略会議 年度計12回開催
- (5) 役員・委員研修会 全役員・委員を対象に令和7年7月12日(土)開催

2. 事業計画、決算・予算

- (1) 決算早期化に向けた会計業務に関する課題共有を事務局、顧問税理士と情報共有し都度改善策を実施した
- (2) 予算集計方法改善や実績との連動による進捗管理等予算精度向上に取り組んだ。

3. 規程管理

・規程・規則等の整備については順次、規程・規則等の制定や改定をすすめ、特に協会名の今年10月1日付変更に伴う対応を行い、関連規程変更等規程の整備も行った。

4. 渉外事項

奈良県中小企業診断士会の総会への出席等対応のほか、9月16日の本部理事会大阪開催にあわせた各都道府県協会会長の大阪・関西万博視察について企画・調整・各手配等対応した。

5. 事務局管理

事務局は令和6年10月以来4名体制となって以降、経理作業の安定化、効率化に取り組むとともに、令和7年4月より顧問税理士をご担当頂いている帖佐税理士に専門的処理への指導のほか、会計システム運用もサポート頂き、より専門性も高めた業務対応を推進している。職員の減員による負荷増加に対しては、Kintone活用を中心とした効率化策を事務局と委員会で推進し定型作業効率化を実現しつつある。また例年と同じくITリテラシー研修を実施し、ITリテラシー向上

とセキュリティ意識の向上に努めた。

6. 業務効率化

業務の効率化に向けては、前年まで進んでいなかった kintone 活用について「協会事務 DX 支援 WT (担当：待谷副委員長)」により具体策を実行し、専門のベンダーである株式会社 BA&C により、事務局主体の開発に対しハンズオン支援を実施、10月から事務局がプログラム開発を行い、Kintone による会員名簿運用と、謝金・交通費精算の効率化プログラムを開発し運用開始した。

7. 組織率向上

役員、事務局、会員事業委員会等各委員会と協力して、新歓フェスタ・診断士の日イベント等を通じ会員増加に取り組み、対前年で5%増となった。引き続き退会者減少に向けて取り組んでいる。

8. 慶弔関係

慶弔規程に基づき、年間7件の慶弔見舞を行った。

9. 青年部関連

下記のとおり、青年部の例会行事が行われた。

実施月	テーマ	内容	参加者数
令和7年 4月22日	新歓飲み会	青年部を通じた協会活動の紹介	35名
6月5日	見学会	5G&LAB OSAKA	9名
11月11日	診断士の歩き方	先輩診断士活動内容紹介	20名

10. プロジェクトチームの活動

・①政策提言プロジェクトチーム

2025年8月以降大阪府関係者との打合せを実施したところ、売上高10億円以下の府内中小企業へのアンケートを具体化することに賛同を得られたため、実施に向けて大阪府との定期的な打ち合わせ、外部調査機関活用の予算化などを行っている。さらに提言後は大阪府商工労働部の各課からプロポーザル案件の紹介を受け対応を進めるなど、関係構築を進めている。

②北口顧問叙勲祝賀会 PT

北口顧問が2025年旭日双光章を受章されたので、2026年2月18日に、ホテル日航大阪にて記念祝賀会を開催した。

③商店街支援プロジェクトチーム

現在、商店街組合から紹介いただいた空店舗所有者と個別に建て替えに向けて協議等推進中。また、本件は吹田市の補助金対象事業となっていたため、報告書提出完了。

11. 委員会の開催

総務委員会を年度計12回開催したほか、個別課題対応の諸会議等を都度開催した。

1. 会報誌の編纂・発行および広告掲載

令和7年度は、令和7年4月号、7月号、10月号、令和8年1月号の計4回、会報誌を発行した。

令和7年4月号は、「中小企業の成長を加速させる！採用・人材育成」を特集テーマとし、5名の会員が社員の意欲を高める育成術や外国人・障がい者雇用、組織作りとDX、求人媒体の活用等の観点から記事を寄稿した。

7月号では、「中小企業で輝く企業内診断士」をテーマに、4名の会員が所属企業における診断士資格の活用事例を紹介した。

10月号では、府協会名称変更に関する理事長からの経緯説明および大阪府への政策提言内容を掲載した。また、「中小企業における防災・BCP」を特集テーマとし、事業継続力強化計画や介護事業者におけるBCP策定支援等についての記事を掲載した。さらに、大阪・関西万博に関連し、出展企業支援に関わった会員の記事を公募した。

令和8年1月号では、公式キャラクター「診断チュー大」（愛称：チュータ）を紹介するとともに、クリエイター高箸佳昌氏の紹介記事を掲載した。特集テーマは「スポーツに学ぶ経営論」とし、ラグビー、サッカー、ヨット、バレーボールを題材に、経営戦略や組織開発に関する内容を掲載した。

また、各号に「オススメ本紹介」コーナーを設け、会員推薦図書を紹介した。

特集記事の執筆については、公募と指名のバランスを考慮して進めた。特に公募においては、新規登録会員からの応募が増加している。

会員数の増加に伴い、7月号より発行部数を100部増刷し、1,800部とした。あわせて、自治体、公的支援機関、学校関係等の送付先名簿を整理し、kintoneによるデータベース化を行った。

さらに、会報誌のタイトルおよび表紙デザインの刷新について検討を進め、令和8年4月号からの変更を予定している。

広告掲載については、令和7年7月号にCRC企業再建・承継コンサルタント協同組合のチラシを挟み込み、令和7年10月号の背表紙に株式会社リードクリエイトの広告を掲載した。

2. WEB ページでの情報発信

WEBサイトにおいては、「診断士コラム」欄を設け、会報誌の特集記事を抜粋して掲載した。

また、令和7年9月に政策提言プロジェクトが大阪府知事宛てに提言を実施したことを受け、専用ページを新たに作成した。

会員数、交流会、登録研究会、登録サークルに関する情報は随時更新している。委員会活動や協会活動、イベント情報についても、お知らせ欄を通じて各委員会および事務局が継続的に情報発信を行った。

令和7年10月1日の府協会名称変更に伴い、ドメイン変更および全ページの名称修正を実施した。

アクセス分析については毎月実施し、その結果を理事会へ報告している。直近のアクセスユーザー数は以下のとおりである。

・11月：4,849件 /12月：1,892件 /1月：3,523件 /2月：3,121件

今後の取組として、公式キャラクター「診断チュー大（チュータ）」を活用したコンテンツ強化を図るため、「チュータの部屋」の開設準備を進めている。

3. 会員向けメールニュースの配信

(1) 定期メールニュース

協会活動の周知および会員増強を目的として、会員および登録済みの非会員に対し、原則毎月10日に計12回のメールニュースを配信した。

また、令和7年9月より会員事業委員会と連携し、登録研究会、登録サークル、同好会に関する情報を原則毎月20日に配信した。

配信状況については理事会に報告している。令和8年2月の配信実績は以下のとおりである。

- ・配信数：2,186件（会員1,484件、非会員702件）
- ・配信成功数：2,181件
- ・開封数：1,202件（会員880件、非会員322件）
- ・開封率：55%

(2) その他メール配信

国、自治体、商工会議所等の外部団体から依頼を受けた情報について、会員向けに随時配信を行った。

近年、配信依頼が増加していることを踏まえ、来期に向けてメールのタイトルタグを整理し、開封状況の分析を行う体制整備を進めた。

4. パンフレット制作

(1) 外部向けパンフレット制作

昨年度に入会促進用パンフレットを刷新したことを受け、今年度は中小企業経営者および支援機関向けの外部用パンフレットを制作した。

「中小企業診断士の活用法」をテーマとし、診断士の支援内容や、実際に支援を受けた経営者の声を掲載した。

(2) 「社長と診断士の経営すごろく」チラシ制作

診断士の支援内容を視覚的に分かりやすく伝えることを目的に、「社長と診断士の経営すごろく」を中心としたチラシを制作した。

自社名を記載できる欄を設けるなど、独立間もない診断士が営業ツールとして活用できるよう工夫した。

5. 診断士の知名度向上施策

(1) 公式キャラクター「診断チュー大」制作

令和7年4月よりMEBICのクリエイタープレゼンを活用し、公募によりキャラクター制作を進めた。

約半年間にわたりデザイン制作および名称公募を行い、令和8年1月の新年互礼会において正式発表を行った。

令和8年2月にはLINEスタンプを制作し、販売を開始した。また、WEBサイト内に「チュータの部屋」を新設する準備を進めた。

(2) 駅看板掲示

昨年度に引き続き、堺筋本町駅ホームに駅看板を掲示した。

協会名称変更および公式キャラクター導入に伴い、看板の改修を実施した。看板にはQRコードを設置し、「社長と診断士の経営すごろく」紹介ページへ誘導している。当該ページへのアクセスは月間30~40件程度で安定的に推移している。

6. 委員会等の開催

定例委員会・会報編集委員会を20回開催した。その他、公式キャラクター制作、パンフレット制作、会報誌送付作名簿整理のためのミーティングを計8回行った。

7. その他

総務委員会において情報インフラ管理規程が制定されたことを受け、広報・情報委員会として追加規程の必要性を検討した。

他の士業団体の状況も踏まえ検討した結果、現時点では当委員会独自の規程は不要と判断し、その旨を理事会に報告した。

指定事業委員会事業報告

1. 中小企業診断士試験などの実施に関すること

(1) 令和7年度第1次試験について

実施日 令和7年8月2日(土)、日(日)

会場	申込数
マイドームおおさか	1,898名
神戸国際展示場	2,598名

申込者数 合計 4,496人 (令和6年度 4,394人、令和5年度 4,529人)

実受験者割合は全体で 1日目: 約71.43~75.64%、2日目: 約74.08~74.65%

(2) 令和7年度第2次試験(筆記)について

実施日 令和7年10月26日(日)

会場	申込数
大阪経済大学	1,286名

申込者数 合計 1,286人 (令和6年度 1,494人、令和5年度 1,573人)

実受験者割合は全体で 約96.8%

(3) 令和7年度第2次試験(口述)について

実施日 令和8年1月25日(日)

会場	申込数
大阪経済大学	235名

申込者数 合計 235人 (令和6年度 302人、令和5年度 283人)

実受験者割合は全体で 100%

(4) 本部主催の連絡会議

下記の通り出席した。

	実施日	参加者
第1次試験 事務連絡会議	令和7年6月13日(金)	古川 佳靖、原 繁巳
第2次試験 事務連絡会議	令和7年9月19日(金)	古川 佳靖、原 繁巳
第2次試験 口述面接員説明会	令和7年12月14日(日)	古川 佳靖

(5) 試験入札に関すること

◇提出

令和7年8月21日(木)に日診連に郵送にて提出(到着)。受付番号: 0821-4

◇開札の日時・場所

令和7年9月25日(木) 15:00~15:30

東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル6階

一般社団法人 日本中小企業診断士協会連合会

◇結果

本件入札の結果、残念ながら落札できなかった。

2. 中小企業診断士実務補習の実施に関すること

(1) 令和7年度夏期コース

コース	実施日	受講者数	参考:令和6年実績
7月コース	令和6年7月10日(木)~7月16日(火)	8班 48名	14班 83名
8月コース	令和6年8月21日(木)~9月1日(月)	7班 42名	13班 76名
9月コース	令和6年9月11日(木)~9月22日(月)	6班 34名	11班 60名
夏期全体		21班 124名 (充足率 98.4%)	

(2) 令和7年度冬期コース

	実施日	受講者数	参考:令和6年実績
2月8日間コース	令和8年2月19日(木)~3月2日(月)	13班 74名	20班 84名
2月15日間コース	令和8年2月19日(木)~3月2日(月) 令和8年3月5日(木)~3月16日(月)	6班 36名	8班 40名
冬期全体		19班 110名 (充足率 96.5%)	

3. 中小企業診断士研修事業(理論政策更新研修)の実施に関すること

年度内にオンライン: 4回、リアル: 8回 合計12回を実施した。

回数	研修実施日	開催方法	最大参加数	受講者数	申込者数
第1回	令和7年6月21日(土)	リアル	120名	115名	117名
第2回	令和7年7月4日(金)	リアル	180名	120名	122名
第3回	令和7年7月17日(木)	リモート	200名	161名	164名
第4回	令和7年8月20日(水)	リアル	120名	108名	109名
第5回	令和7年9月2日(火)	リモート	200名	138名	142名

第6回	令和7年9月19日(金)	リモート	200名	139名	145名
第7回	令和7年10月4日(土)	リアル	180名	147名	150名
第8回	令和7年11月15日(土)	リアル	120名	109名	116名
第9回	令和7年12月4日(木)	リモート	200名	142名	145名
第10回	令和7年12月20日(土)	リアル	120名	113名	115名
第11回	令和8年1月15日(木)	リアル	120名	106名	107名
第12回	令和8年1月31日(土)	リアル	120名	112名	116名
合計			1,880名	1,510名	1,548名

受講者数 年間合計：12回 1,510名（令和6年度 合計12回 1,561名）

4. 中小企業診断士実務従事の実施に関すること

(1) 春季コース

受講生が任意に希望するコースを選ぶ方式により、10コース53名の受講があった。

（令和6年度 8コース 48名）

(2) 秋季コース

春季と同様の方法で、7コース37名の受講があった。

（令和6年度 10コース54名）

5. その他活動について

(1) 委員会等の開催について

指定事業委員会を年度内に計12回開催した

(2) その他

委員会以外に、試験・実務補習・理論政策更新研修・実務従事などの打ち合わせ及び準備作業、説明会開催などを随時実施した。

実施内容	実施日	出席者
理論政策更新研修前打合せ	令和7年5月15日(木)	林、川瀬
実務補習の運用打合せ	令和7年6月5日(木)	佐野専務、津田理事長、古川、原事務局長、東京協会関係者
理論政策更新研修前打合せ	令和7年7月15日(木)	林、川瀬
理論政策更新研修	令和7年7月17日(木)	川瀬、清水
1次試験用紙確認	令和7年7月30日(水)	古川、打上、仲、渡壁、原事務局長
理論政策更新研修前打合せ	令和7年8月21日(木)	川瀬、間部、渡壁、上村

2次試験会場下見	令和7年8月28日(木)	古川、原事務局長
中小企業診断士試験開札	令和7年9月25日(木)	古川
2次試験用紙確認	令和7年10月22日(水)	古川、打上、仲、原事務局長
実務従事 指導員説明会 (Zoom)	令和8年1月29日(木)	古川
実務補習 指導員説明会 (Zoom)	令和8年2月9日(月)	古川
実務補習 指導員説明会	令和8年2月10日(火)	津田理事長、古川、打上
実務補習 指導員説明会 (Zoom)	令和8年2月11日(水)	古川
実務補習 実施状況見学	令和8年2月21日(土)	古川、清水、橋本

会員事業委員会事業報告

1. 登録研究会

(1) 48 研究会が活動（前年から 5 増 0 減）

参加者総数1,162名（前年比48名増、前々年比168名増）

No.	名 称	No.	名 称
1	ISO 研究会プラス	25	住環境研究会
2	アプリ活用研究会	26	診断技術向上研究会
3	WEB マーケティング研究会	27	診断士ファーム研究会
4	エリアファイナンス研究会	28	スモール M&A 研究会
5	OEM 研究会	29	生成 AI 研究会
6	観光・サービス経営研究会	30	組織開発研究会
7	企業再生研究会	31	脱炭素経営研究会
8	企業内診断士活性化研究会	32	W B P 研究会
9	企業リスクマネジメント (ERM) 研究会	33	知的資産経営研究会
10	ケアビジネス研究会	34	中小企業人づくり研究会
11	経営デザイン研究会	35	電機業界研究会
12	原価管理研究会	36	農業経営研究会
13	健康経営・ウェルビーイング経営研究会	37	万博×未来社会イノベーション研究会
14	建設業研究会	38	ピザの会
15	コーチング研究会	39	ビジネスゲーム研究会
16	顧客満足経営 (C S M) 研究会	40	VR・AR 研究会
17	国際派診断士研究会	41	フードビジネス研究会
18	最先端ビジネス研究会	42	プライベートバンク研究会
19	サステナブル経営/SDGs 研究会	43	プレゼンスキルアップ研究会
20	サプライチェーン・マネジメント研究会	44	プロコン研究会
21	事業革新研究会	45	モノづくり活性化研究会
22	事業継続力強化・BCP 研究会	46	UX/UI 研究会
23	実践 IT コンサルティング研究会	47	ワークショップ研究会
24	実践イノベーション&エフェクティブエーション研究会	48	和文化振興・支援研究会

(2) 論文の評価、表彰

令和7年度応募件数 2件

	研究会名	論文名称
最優秀賞	該当なし	—
優秀賞	該当なし	—
努力賞	ISO 研究会+	「中小企業向け簡易経営マネジメントシステムの構築手順書の開発と運用ガイド」

(3) 活動成果発表

令和7年10月18日開催の秋の歓迎会において研究会活動発表の場を設けた。5研究会(電機業界研究会、事業革新研究会、農業経営研究会、脱炭素経営研究会、ケアビジネス研究会)が活動内容の発表を行った。

(4) 協会イベントニュースの配信

令和7年10月より登録研究会・登録サークル・業種別交流会(以下「研究会等」という。)のイベント告知用メールニュース(協会イベントニュース)の配信を開始した、配信のため研究会等の代表向けに毎月原稿を募集している。

2. 診断士交流会

(1) 診断士交流会 (曜日別)

曜日別の診断士交流会を水曜日・木曜日の2交流会で開催した。参加者31名。
5月15日に発足式を行い、その後月1回定期開催している。

(2) シン・診断士交流会 (単発型)

実施日	テーマ	参加者
令和7年10月7日	BBQだよ！全員集合！	9名
	合計	9名

3. 総会懇親会

総会懇親会の事前準備(ホテルとの調整、プログラム検討、来賓招待等)及び当日運営(懇親会受付、来賓対応等)を行った。

令和7年6月12日開催 参加者数94名(うち来賓13名)

(令和6年度120名(うち来賓14名))

4. 新年互礼会

新年互礼会の事前準備(会場手配、ホテルとの調整、プログラム検討、申込受付等)及び当日運営(来場者受付、来賓対応等)を行った。

令和 8 年 1 月 10 日開催 参加者数 142 名（うち来賓 2 名）

（参加者推移：令和元年度 178 名、令和 2 年度 106 名※、令和 3 年度 136 名※、令和 4 年度 160 名、令和 5 年度 155 名、令和 6 年度 147 名） ※オンライン

5. 新歓フェスタ

新歓フェスタの事前準備（会場手配、事前説明会の開催、プログラム・レイアウト検討、申込受付）及び当日運営（来場者受付、会場準備等）を行った。

令和 7 年 4 月 5 日開催 参加者数 403 名（会員 240 名、未入会 163 名）

（参加者推移：令和元年 276 名、令和 2 年 246 名※、令和 3 年 申込者数 307 名※、令和 4 年度 387 名、令和 5 年度 352 名、令和 6 年度 395 名） ※オンライン

6. 入会式&秋の歓迎会

大阪府協会として初めての入会式と 6 年ぶりとなる秋の歓迎会を開催した。事前準備（会場手配、研究会・登録サークルへの登壇依頼、プログラム・レイアウト検討、申込受付等）及び当日運営（来場者受付、会場準備、会員バッジの貸与等）を行った。

入会式では主に新入会員向けに府協会の活動紹介やコンプライアンス規程等の紹介、バッジ貸与を行った。

秋の歓迎会では、5 つの研究会による活動発表の後、懇親会を実施した。

令和 7 年 10 月 18 日開催 参加者数 入会式 61 名 秋の歓迎会 92 名

7. 分科会（業種別交流会）活動

前年度から変更なし

No.	名 称
1	独立希望者の会
2	不動産業界交流会

8. 登録サークル制度

8 サークルが活動（前年から 1 増 0 減）

No.	名 称	No.	名 称
1	芝刈り診断士 GOLF 苦楽歩	5	大阪のうまいもんを食べ尽くせ THE ぐるめ・ぶ・おおさか
2	大阪モルック中小企業診断士の会	6	ジビエでワイン（お酒）を楽しむ会
3	泉州在住診断士の会（泉州地域のいずれか）	7	枚方診断士の会（枚方市内）
4	北摂診断士の会（石橋阪大駅を中心とした阪急沿線）	8	堀の中診断士の会

9. ゆるつなカレッジ

申込 89 名。キックオフを含めて下記 6 回開催。

実施日	テーマ	ゲスト	参加者数
令和 7 年 5 月 26 日	キックオフ・オリエンテーション	内藤副会長	74 名
7 月 18 日	受講者間のつながり作り、診断士の入り口を知る（ラポール）	津田会長	68 名
9 月 13 日	診断士の多様性を知る ～あなたはどんな診断士を目指す？～	なし	53 名
11 月 12 日	市場で評価されるための価値提供（ブランディング・マネタイズ）	林大祐氏 北口祐規子氏	41 名
令和 8 年 1 月 14 日	診断士として「自分が大切にしている価値観」の再発見	なし	41 名
3 月 4 日	卒業後の活動発表会 ～『これからどうする』を具体化～	津田会長	33 名

10. スキルアップ研修

毎月開催の研修定番メニューとして数十年継続している。主に講師は登録研究会からの選出や会員が務めることで、研究会成果発露の場や会員相互の研鑽の場になっている。一方、当協会外からも魅力的な講師を招くことでテーマの多様性を実現している。参加費は無料。コロナ禍の影響もあり昨年度上期まではオンライン開催が主であったが、今期はリアル開催を中心に行うことができた。

実施日	テーマ	講師	参加者
令和 7 年 4 月 24 日	PR・マーケティング支援×フランス VivaTech 視察 ～好きを仕事にできるか？	森 令子氏 (大阪府協会会員)	21 名
5 月 28 日	少しの気付きで業績 up! 中小企業のデータドリブン経営	櫻井 真佑美氏 (大阪府協会会員)	62 名
6 月 25 日	まずは「たこ焼き屋」からはじめよ!	村山 佐和子氏 (大阪府協会会員)	35 名
7 月 23 日	あなたのプレゼン力を爆速でアップさせる JPJM 理論の体験	数本 優氏 (プレゼンスキルアップ研究会)	11 名
8 月 27 日	中堅・中小企業者／中小企業診断士が知って得する知的財産	黒澤 理弘氏 (大阪府協会会員)	32 名

9月24日	会計ソフトから学ぶ会計の世界	廣瀬 善厚氏 (大阪府協会会員)	64名
10月29日	地域で楽しむ診断士になろう！～仲間と見つける「私らしい」地域支援～	田代 博之氏 山本 淳氏 山崎 研氏 (大阪府協会会員)	57名
11月26日	遅すぎることはない！60代で安定を捨てて独立した診断士が語る、“最初の一步”と続け方	匂梅 和章氏 (大阪府協会会員)	41名
12月18日	事業再生支援、はじめの一步～支援者が知っておきたい基礎と現場～	藤井 明登様(独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部 中小企業アドバイザー)	156名 (WEB)
令和8年1月19日	中小企業の雇用を考える～外国人という選択肢～	中上 勝貴氏 (大阪府協会準会員)	38名
2月25日	支援を受ける側の診断士が伝える！中小企業に寄り添う本当の支援とは～企業の成長段階で見極める「アプローチ」の仕方～	仲谷 陽介氏 (大阪府協会会員)	35名
3月25日	経営支援の現場で活かす「対話と傾聴」の作法	妹尾 拓朗氏 (大阪府協会会員)	33名
		合 計	585名

開催数 12回 参加者総数 585名 (令和6年度開催11回 668名)

11. オンラインショートセミナー

Zoom開催を前提とした平日夜間に気軽に取り組める約1時間のオンラインのショートセミナーを企画・実施している。参加費は無料。今年度も特定業界に詳しい診断士に登壇いただく「ギョーカイの診断士」、プロコンへのインタビュー企画「プロコン直球インタビュー」、会員の講師デビュー機会を提供する「浪速の診断士道場」の3つのシリーズ企画を開催した。

実施日	テーマ	講師	参加者
令和7年4月10日	デザイナー視点でのブランド開発とアイデア発想法	大槻 佳代氏 (大阪府協会会員)	92名
5月9日	元製薬企業MRの中小企業診断士による医療ベンチャー企業の支援	諸岡 徹郎氏 (大阪府協会会員)	55名
6月13日	中小企業白書・小規模企業白書6年分総ざらい	水村 聡氏 (大阪府協会会員)	110名

7月10日	激変、少子化時代の幼保ビジネス最前線～構造変化が激しい幼保ビジネス支援のポイントを解説～	竹内 拓也氏 (大阪府協会会員)	45名
8月7日	最優秀賞を経営診断シンポジウムで獲得した吉田喜彦さんに聞く～「顧客伴走型経営」に向けた支援とは～	吉田 喜彦氏 (大阪府協会会員)	77名
9月10日	「前例のない取り組みを実行できたのは何故か？」その答えがここに。～BE THE LOVED COMPANY の3年間フィールドワークから見えた社員に愛される企業のこれまでとこれから～	沼本 和輝氏 (経済産業省近畿経済産業局 地域経済課総括係長)	68名
10月9日	医療・介護分野は GDP の 10%！診断士が拓く地域包括ケアの未来』	天野 陽介氏 (大阪府協会会員)	67名
11月13日	経済産業省&財務省担当者が解説！－中小企業が技術/ノウハウ流出に備えるための、“経済安全保障”のポイント－	山本 喜満子氏 (経済産業省 貿易経済安全保障局 技術調査・流出対策室 係長) 川崎 靖之氏 (財務省 近畿財務局 理財部理財第一課 主任投資調査官)	41名
12月10日	施行日迫る！60分で理解する診断士が知っておきたい改正下請法の勘所	山岸 夏樹氏 (大阪府協会会員)	71名
令和8年 1月16日	『地域支援業務におけるローカル鉄道の活かし方』～特徴的な3事例から学ぶ地域支援へのヒント～	水村 聡氏 (大阪府協会会員)	54名
2月12日	「絵に描いた餅」で終わらせない。監査の視点で実行を担保する『動く企業戦略』構築の伴走支援	坂元 昭氏 (大阪府協会会員)	70名
3月11日	コンサルタント 1本で、仕事と共に育つ。 《叩き上げ系診断士》の成果の重ね方	石井 誠宏氏 (大阪府協会 事業推進委員長)	83名
		合計	833名

開催数 12回 参加者総数 833名 (令和6年度開催数 12回 参加者総数 961名)

12. 土曜セミナーの実施

スキルアップ研修よりもテーマの自由度は高く、テーマに相応しい講師を招聘することになっている。土曜に実施することで、平日開催するセミナーより時間をかけ

てじっくり研修できる場としている。他のコンテンツとの棲み分けもあり今年度は計2回の開催となった。

実施日	テーマ	講師	参加者
6月7-8日	診断士仲間とつながろう！“バーベキュー×ワイン×焚き火”合宿型研修『ワーケキャンプ』体験会	森田 祐司氏 岩崎 弘之氏 (大阪府協会会員)	10名
11月29日	中小企業診断士のための「自分でできる確定申告」実践セミナー	酒井 秀彰氏 (大阪府協会会員)	46名
		合計	56名

開催数 2回 参加者数 56名 (令和5年度開催4回125名、令和6年度開催1回15名)

13. 会員事業委員会の開催

年度内に合計36回の委員会を開催した。

連携事業委員会事業報告

1. 中小企業診断士の日イベントの開催

令和7年度は協会ビジョンおよび万博5年後の2030年を見据えたテーマとして「大阪の全ての企業に活力を！」を掲げ、11月7日(金)に「診断士シンポジウム大阪2025」をマイドームおおさかで開催した。

3部構成とし、第1部は企業側、診断士側からの双方の視点でのセミナーとした。第2部は企業経営者、診断士、支援機関の3者の視点で今後の展開等を議論するパネルディスカッションとした。最後に参加者同士の交流を図るための交流会を開催した。

第1部および第2部は115名、交流会は82名が参加した。

第1部 14:00～15:50	オープニング：大阪府中小企業診断士協会 会長 津田 敏夫 企業セミナー：菱田技研工業株式会社 代表取締役 菱田 聡 診断士セミナー：中小企業診断士 吉田 喜彦
第2部 16:00～17:00	パネルディスカッション ～2030年、大阪経済と企業経営に活力を与えるには～ モデレーター：北口祐規子 パネリスト：菱田 聡、畑 浩基、東 純子、吉田 喜彦、山口 透
交流会 17:00～18:00	名刺交換&懇親会

2. 海外研修事業

コロナ禍で中断していたが研修旅行を6年ぶりに再開した。

日程：令和7年9月4日～令和7年9月7日(3泊4日)

訪問先：フィリピン・マニラ

参加者：31名(沖縄県協会会員および当協会会員の同行者含む)

今回は活気あふれるフィリピンのマニラとその郊外を訪問し、リマ工業団地の見学、JETRO・マニラ事務所によるセミナー、リマ工業団地に日本から進出している中小企業3社の視察を行った。中小製造業の進出先での異文化における取組みや経営の工夫などを学ぶことができた。

3. 国際シンポジウム等の取組み

会員のグローバル視点の素養醸成、海外事業展開に関するノウハウ、知識等の習得を目的として大阪弁護士会国際委員会と連携し実施しており、令和7年度は5回目の開催となった。

実施日	テーマ	講師	受講者数
令和8年 2月9日	海外事業の進出・展開・撤退～基礎的な留意点～	藤原 杯花 科埜 貴広 (ともに大阪弁護士会)	42

4. 国際的活動の窓口的活動

国際的活動として、前述のグローバルセミナーを開催した。

5. 大阪中小企業診断士会との連携

今年度は協会と士会との意見交換を行った。

6. 関係機関・他士業・他都道府県協会との連携

(1) 大阪弁護士会との連携

- ① 打合せを計3回実施した。
- ② 弁護士会国際委員会との連携によるグローバルセミナーを開催（上記、国際シンポジウム等の取組みにて記載）

(2) 日本弁理士会関西会との連携

- ① 打合せを計5回実施した。
- ② 診断士×弁理士 ワークショップを令和7年11月27日に開催。診断士19名、弁理士17名が参加。創作事例によるグループワークを実施し、弁理士、診断士双方の視点で議論を行い相互理解が深まった。

(3) 日本技術士会近畿本部との連携

- ① 打合せ年度計5回実施した。
- ② 今回は初めての合同ワークショップを令和8年3月9日に開催。診断士18名、技術士16名が参加。創作事例によるグループワークを実施し、技術士、診断士双方の視点で議論を行い相互理解が深まった。

7. アイデアピッチコンテストの開催

前年度までは診断士の日イベントの企画の一つとして開催していたが、令和7年度は「IDEA PITCH CONTEST 2025」と題して単体イベントとして開催した。

応募23件の中から書類選考で本選出場者6者(組)を選定し本選出場予定者に対して事前にプレゼンのブラッシュアップを行った。令和7年12月6日開催の本選において入賞者3者(組)を決定した。

8. 委員会の開催

連携事業委員会の定例会を計12回開催した。ほかに、定例以外の委員会内個別ミーティング、他団体との連携会議等を合計23回開催した。

事業推進委員会事業報告

1. 案件開拓活動

(1) 自治体への協会概要説明

委員会として今年度は下記自治体へ訪問と協会の説明を実施した。

No	訪問日	訪問先	No	訪問日	訪問先
1	5/16	河内長野市	7	7/18	阪南市
2	5/16	富田林市	8	7/18	岬町
3	5/16	羽曳野市	9	7/18	泉南市
4	5/16	藤井寺市	10	7/18	田尻町
5	5/16	松原市	11	7/18	泉佐野市
6	6/3	島本町			

(2) 展示会出展

①大阪わかそう（実施主体：大阪府中小企業家同友会）への出展

7月9日に実施された展示会「大阪わかそう」への参加を行った。来訪・参加されている企業様へ協会パンフレットを100部以上配布して、認知の向上に努めた。

②大阪勧業展（実施主体：大阪商工会議所）への出展

12月3日、4日に実施された展示会「大阪勧業展」への参加を行った。来訪・参加されている企業様へ協会パンフレットを350部以上配布して、認知の向上に努めた。

(3) 自治体・公的団体等との案件化に向けた交渉

No	訪問日	訪問先	交渉内容
1	4/25	M商工会議所	補助金審査事業の受託に向けた打ち合わせ
2	10/31	大阪市福祉局	伴走型支援等業務に向けた打ち合わせ
3	12/12	大阪府商工労働部	事業の受託に向けた打ち合わせ
4	2/5	大阪市福祉局	伴走型支援等業務に向けた打ち合わせ
5	2/6	中央会	事業の受託に向けた打ち合わせ
6	2/16	大阪産業局	事業の受託に向けた打ち合わせ
7	2/18	(一社)日本能率協会	審査員公募に向けた打ち合わせ

2. 案件管理

(1) 全国生活衛生関連事業

東京協会より年間：22 件の専門家選定依頼があり、選定を実施した。また、7/8 に伊澤理事が大阪府生活衛生営業指導センターにて、事業と中小企業診断士の説明を行った。

(2) 事業継続力強化計画実効性向上支援事業

専門家の募集を行い、持ち込み案件として、4 件の案件があった。委員会としては指名であったため、承認のみを実施した。

(3) 審査員公募関連

自治体などの公共機関に専門家として派遣できる診断士として 20 名を選定・紹介した。また、11 月 11 日に ZOOM での説明会、録画の共有を行った。

本年度においては直接専門家を指名して欲しいという 9 件の公募案件に紹介対応した。

(4) M商工会議所からの事業受託

M商工会議所から創業間もない方向けの補助金の審査員事業を受託した。6 名の診断士による審査を行い、結果報告を行った。

(5) 企業評価書案件問い合わせ（経営管理ビザ・産業廃棄物処理業・技能実習生）

企業評価書を必要とする事象に対応する専門家として 12 名を登録した。また、11 月 11 日に対象者に対して、ZOOM での説明会、録画の共有を実施した。

年度内に 7 件の問い合わせがあり、診断士の紹介を行った。（期間：2025/4～2026/3）

(6) 企業問い合わせ対応

① 経営改善全般

企業からの問い合わせ：12 件に対し、10 件の内容について公募・マッチングを実施した。残り 2 件のうち、1 件は指名案件、1 件は対応途中で終了となった。

(7) その他専門家紹介依頼

No	依頼時期	依頼先	交渉内容
1	5月	船井総研	価格転嫁事業のセミナー講師支援
2	7月	四條畷商工会	四條畷商工会の事務局員推薦
3	7月	一般企業	システム開発系ベンダーの経営革新計画支援
4	10月	中央会	AIセミナー専門家紹介依頼
5	12月	IT系専門学校	専門学校の講師紹介

3. 会員向け教育、情報共有事業

(1) プロコン道場の実施

2026年2月7日、14日にプロコン道場を実施し、受講者は30名、アンケート結果は良好なものとなった。

(2) キントーンでの公開プロフィール作成

自信の情報を自分で更新して公開できる「公開プロフィールアプリ」をキントーン上で、2025年3月13日にオープンした。登録者数は40名程度とまだまだ少ないものの、今後定期的に応用することで、利用を増やしていきたいと考えている。

(3) 経営管理ビザ関連の業務ガイドライン、基準資料作成

在留資格「経営・管理」に係る省令・規則の変更に対応するために、業務と審査基準の「ガイドライン」を作成した。

また、プレスリリースを行い、中小企業診断士が正しく対応できるように準備している旨をアピールした。

4. 企業会員向け事業

(1) 企業会員向けメールマガジンの作成・送付

回数	配信日	メール内容
1	2024年8月30日	中小企業省力化投資補助金について
2	2024年11月5日	実務補習について
3	2025年1月8日	よろず支援拠点について
4	2025年2月28日	資金繰り表作成の重要性について
5	2025年5月16日	補助金加点項目を取得するためのポイントについて
6	2025年8月7日	事業拡大などの設備投資で活用できる制度について
4	2026年2月16日	早期経営改善計画策定支援について

メールマガジンを送付した企業からの問い合わせもあり、対応を行っている。

5. 事業推進委員会の開催

定例会議を計 12 回開催した。

会 員 移 動
(正会員・準会員・賛助会員)

* 期首会員数		1,378 名
* 期中入会数		183 名
	新規入会数	180 名
	移籍会員数 (転入)	2 名
	海外出張帰国者数	1 名
* 期中退会数		122 名
	移籍会員数 (転出)	9 名
	退会・除籍会員数	111 名
	海外出張者数	2 名
* 期末会員数		1,439 名

<会員数についての補足>

期首会員数 1,379 名には令和 7 年 4 月 1 日に協会へ入会の 8 名は含まない。
期末会員数 1,439 名には令和 8 年 4 月 1 日に協会へ入会の 18 名は含まない。
期末でみると令和 7 年度は 1,378 名が 1,439 名になり 61 名の会員増加である。

第2号議案 令和7年度 決算報告承認の件

※決算報告書については、下記を別紙（PDF ファイル）でご参照ください。

【貸借対照表】

【正味財産増減計算書】

【財務諸表に対する注記】

【財産目録】

第3号議案 定款変更の件

議案

本会の定款を別紙新旧対照表のとおり変更すること。

定款変更の趣旨内容

本会の組織運営をより円滑かつ適正なものとするため、現行定款について以下のとおり変更を行うもの。

(1) 懲戒手続中の退会制限に関する規定の追加（第8条第2項関係）

会員の倫理遵守と本会の自浄作用を確保するため、本会の定める綱紀規程に基づく手続（懲戒手続等）が開始されている会員について、当該手続が完了するまでの間の自主退会を制限し、除名処分が決定した場合には退会の申し出がなかったものとみなす規定を新設する。

これにより、不祥事等による処分逃れとしての退会を防止し、適正な処分の実行を担保する。

(2) 資格喪失に伴う賛助会員への移行規定の追加（第8条第4項関係）

個人会員が中小企業診断士の資格を消除された場合における本会での取り扱いを明確化し、自動的に賛助会員へと移行する規定を新設する。

(3) 役員選任における一括決議の導入（第17条第3項関係）

総会における議事進行の合理化・迅速化を図るため、事前の書面行使等により役員候補者の全員について過半数の賛成が既に得られており、かつ総会において出席正会員から異議が出ない場合に限り、候補者全員を一括して決議できる旨の規定を追加する。

(4) 法令規則名等の正確な表記への修正（第5条、第14条関係）

準会員の資格要件において引用している規則の名称を「中小企業診断士の登録等及び試験に関する規則」と正確な名称に修正するとともに、総会の招集通知（電磁的方法）の承諾を得る対象が「会員」ではなく「正会員」であることを明確にする等、実態と法令に即した字句の修正を行う。

(5) 附則の整理（附則関係）

本会の設立当初の役員や設立初年度の事業年度、設立時社員の氏名及び住所など、既に効力を終えている設立時の経過措置的規定を削除し、定款の構成を整理する。

第4号議案 役員選任の件

【理事候補者】 23名

伊澤 要平	石井 誠宏	井上 朋宏	岡崎 永実子
鹿島 清人 (※)	片上 拓也 (※)	川瀬 健夫 (※)	岸本 行正
桑山 政明	五味 義也	左川 睦子	鈴木 文崇 (※)
瀧住 政俊 (※)	田代 博之 (※)	田中 聡	津田 敏夫
内藤 秀治	中本 美智子	林 覚	古川 佳靖
星 雄仁 (※)	待谷 忠孝	間部 勝 (※)	

【監事候補者】 2名

中嶋 聡 (※) 福嶋 康徳

(※) 印は新任、その他は再任